

## 研修報告『福祉施設・事業所新卒採用者研修』

報告者 管理栄養士 加藤 舞

社会人として必要なマナーの5原則 ①身だしなみ ②表情 ③態度 ④あいさつ ⑤言葉遣いについて学んだ。マスクをしていると表情がわかりづらく、声もこもりやすいため普段より笑顔を心掛け、声のトーンを上げて相手が聞き取りやすいように意識することの大切さを改めて感じることができた。電話対応や来客対応もまだ慣れであり、とっさに対応することができないため、いろいろなシチュエーションを想定して行ったロールプレイは実践的でとても勉強となった。相手が気持ちくなるような対応ができるようにクッショング言葉やプラス言葉を上手く活用し、現場での経験を通して対応能力やコミュニケーション能力を上げていきたいと感じた。

「信頼される組織人としての必要な力について」「積極的傾聴・相手が理解しやすい伝え方・健康管理（ストレスマネジメント）」では相手の話を聞いたり、誰かに伝える場合はそのままの相手を受け止め、「知っているだろう」という思い込みを取り扱うことが大切ということを学んだ。高齢者施設のみならず、利用者様やそのご家族、職員の方々と信頼関係を築くことはより良い生活の場、仕事場を作っていくためにはなくてはならないものだと思う。自分の話しありや聞き方の癖を知ることができたため、今後はその癖を直せるよう意識し、周りから信頼してもらえるような人になれるように頑張りたい。働くうえでも健康管理は自分でうまく行ていかないとならないため、しんどいことや辛いことがあっても考え過ぎずに自分なりの対処法を見つけて働きやすい状態を維持できるようにしたいと感じた。



父の日はスタミナ御膳！  
うなぎに、ステーキで  
パワーチャージを！！

## あとがき

先日、山本清子様よりいただいたドクダミ草でどくだみ風呂を愉しんでいただきました。お肌にも良いとされているどくだみ風呂ですが、何より季節を感じられました。

以前のような行事はできそうにありませんが、ささやかな喜びを共に感じられる時間を作りたいな。と思います。

広島市内の施設でもコロナの猛威は続いている。感染対策は怠りなく。その中でもできることは？

竹



岸さん（左）81歳を迎える。「今日は何の日？」と尋ねると「ななこの日！」とニッコリ♪ご家族とお祝いの時間を楽しまれました。



平田さん（上）九十二歳を迎える。児童室の子供たちからの手作りプレゼントを持って記念撮影。

## 研修報告『明日から実践！高齢者施設で取り組む褥瘡管理』

報告者 褥瘡予防委員会委員長 山下すみ子

褥瘡発生の外的要因として、圧迫、摩擦、ずれ、皮膚の湿潤、湿度、外力（圧力+ずれ力）、これらが原因で起こる寝たきり、車いす座りつきりがある。

## 床ずれ危険度チェック8項目

- 1.自分で寝返りできない⇒体位変換できない
- 2.瘦せて骨ばっている⇒仙骨突出⇒予防マット、クッションを使用
- 3.足や腕の関節を伸ばすことができない⇒関節を動かすことができない。
- 4.食べる量が減った⇒栄養の低下⇒食事の口への運び方の介助を改善
- 5.体が汗で湿っている⇒厚着、毛布・布団の使い過ぎはないか⇒シーツの検討。通気性や褥瘡予防機能のある耐圧分散寝具
- 6.おむつを常時使用している⇒パッドの重ね使いが床ずれに関係⇒ふやけ（湿軟）⇒失禁関連おむつ皮膚炎から褥瘡へ⇒適切なスキンケア（清潔、洗浄、保湿、保護）
- 7.足が浮腫んでいる⇒足に水分が溜まっている⇒血管リンパの流れを改善させるため筋肉を使って動かす
- 8.ギャッジアップの機能を利用して体を動かしている⇒滑りグローブを使用し仙骨から腰にかけて手を入れ背抜きをする⇒頭部挙上時、水平方向にずれる⇒下肢挙上、リクライニングポイントと大転子を一致させる褥瘡ケアにおいてスキンケアとベッド上の外力予防について学ばせて頂きました。スキンケアの基本について、洗浄⇒弱酸性の泡で洗浄すると汚れが落ちる。弱酸性は皮膚の湿潤やバリア機能などを保つために必要。保湿=皮溝に沿って塗布。乾燥により皮膚が傷つきやすくなるのを予防。保護=皮膚が浸軟すると傷つきやすく、感染が起りやすくなる可能性もある。褥瘡予防には、体圧を分散するため、臥床状態を軽減するための体位変換、栄養状態の改善、皮膚の清潔や湿潤へのリスクを防ぐためのスキンケアが重要になる。特に基本的なケア（食事、排泄、清潔など）をきちんと行うことが大切と思いました。



この四月に、マツダ株式会社より当法人母子活支援施設にマツダ車CX-8を寄贈いただき、七月五日にその贈呈式がマツダスタジアムにて試合前に行われました。この取り組みは、マツダ株式会社様が社会貢献活動の一つとしてスタジアム来場者数百万人を達成するごとに、広島市社会福祉協議会により選定された社会福祉団体にマツダ車を一台贈呈しておられるもので、この度は「地域に貢献し、こどもたちを笑顔にしたい」と当法人の母子生活支援施設にいただくことになりました。マツダ株式会社様はじめ、球団関係者の皆様、マツダスタジアムに足を運ばれた多くのファンの皆様、広島市社会福祉協議会の皆様、そして私たち（こどもたち）の願いをすべて取り入れたCX-8をすすめください」とアンフィニの皆様、多くの方々のおかけです。心より感謝いたします。



マツダ株式会社東堂執行役員（中央）から目録を受け取りました。坂倉選手（右から3番目）からはサイン入りユニフォームも頂きました。

# ありがとうございます

森様、安達様（吉岡様）  
細田様、森本様、中本様  
上田様（立花様）、草加様  
中西様（岸様）、児玉様（前田様）  
松浦様、平井様（今村様）  
株式会社玉屋様、  
株式会社ヒューマックス様  
麻生様